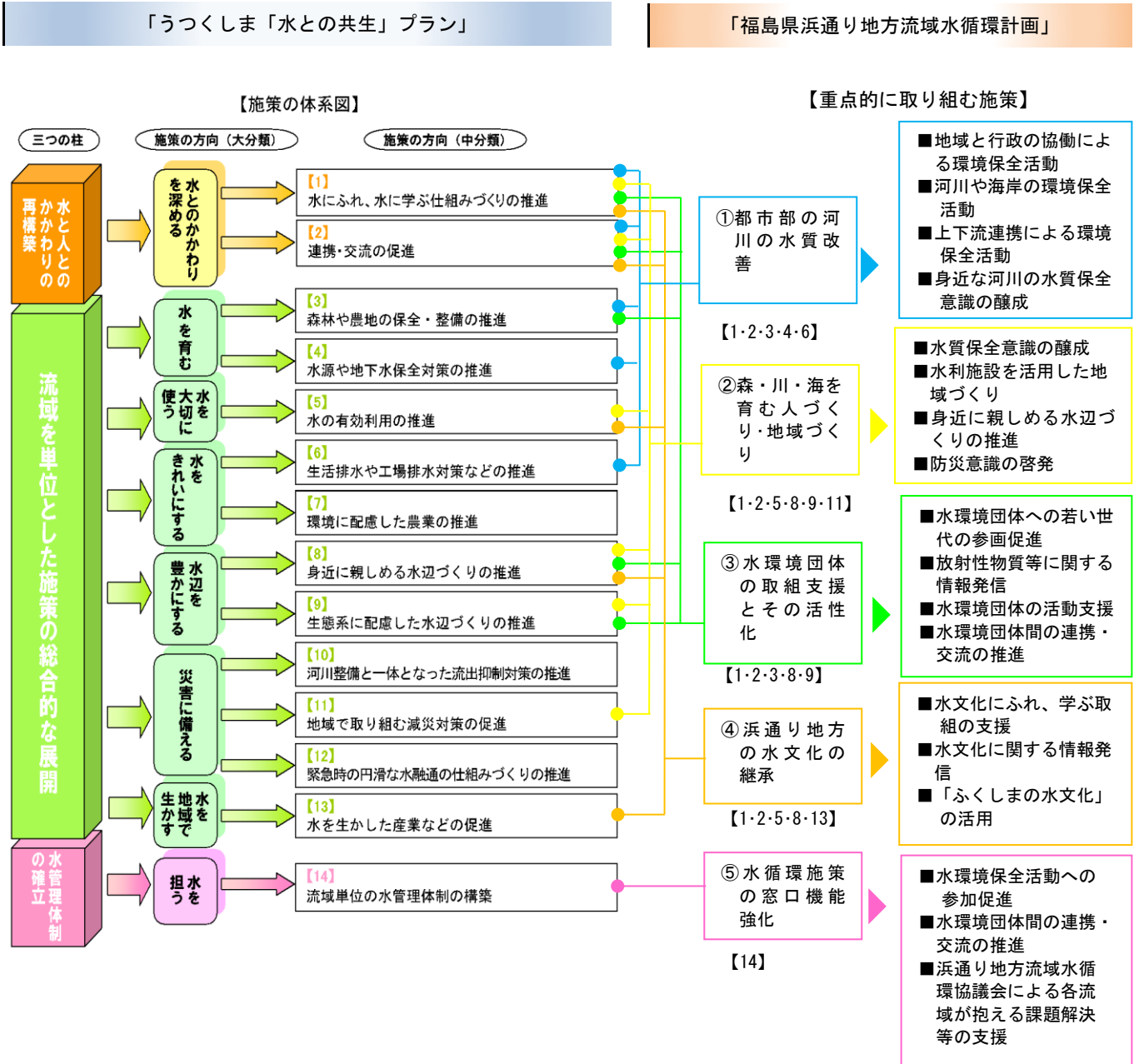


第4章 福島県浜通り地方流域水循環計画の重点施策

4 福島県浜通り地方流域水循環計画で取り組む施策の体系

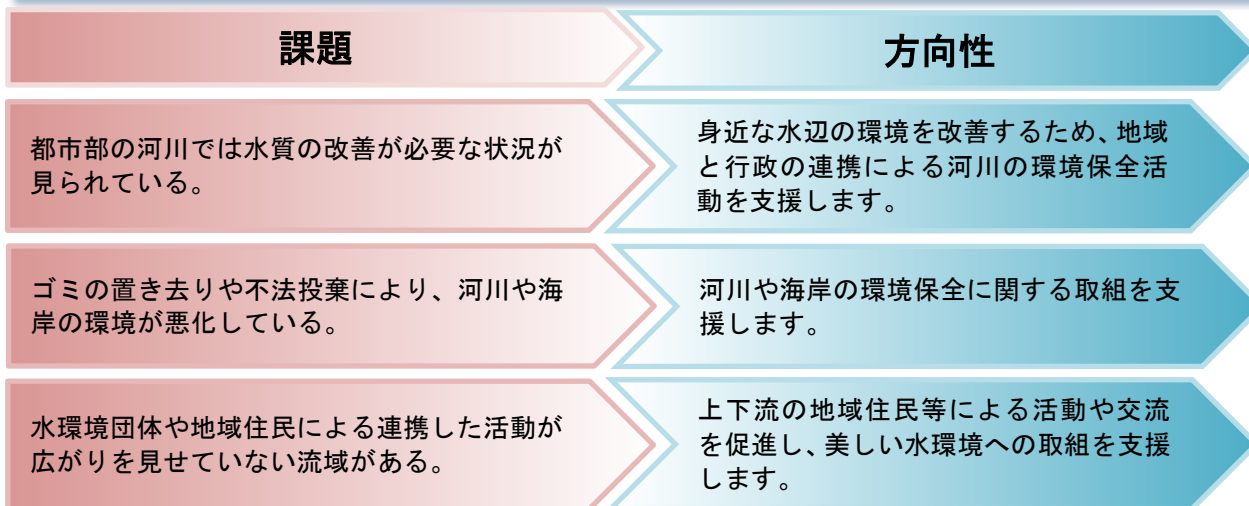
共生プランの施策を軸として、「福島県浜通り地方流域水循環計画」で重点的に取り組む施策を体系化します。



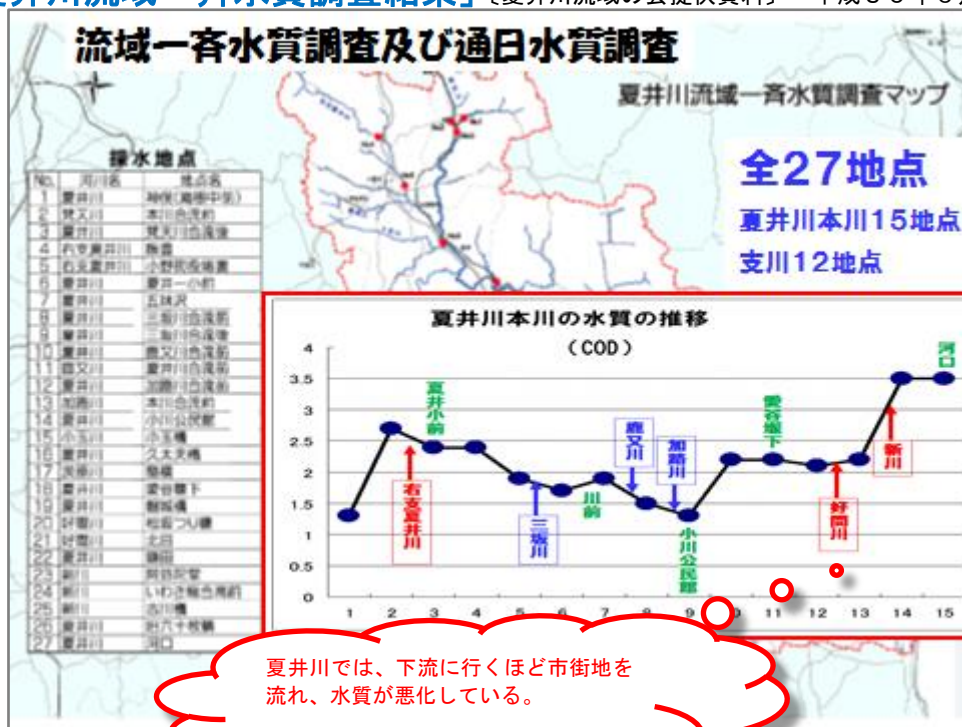
「うつくしま「水との共生」プラン」と「浜通り地方流域水循環計画」における施策の関係

主な課題と今後の方向性

浜通り地方では、都市部の河川において、水質の改善が必要な状況が見られているため、流域内の上流から下流までの活動団体が連携した水質改善に向けた取組や、地域と行政の協働による河川の清掃、美化活動などが行われています。これらの活動をさらに広げていくため、地域住民や水環境団体等による活動の連携や交流を支援します。



「夏井川流域一斉水質調査結果」〔夏井川流域の会提供資料〕 平成30年6月調査



具体的な取組

地域住民や水環境団体が行っている水環境活動への参加促進や活動支援などを行い、環境保全活動の輪を広げます。

地域と行政の協働による環境保全活動

「うつくしま川・サポート制度」などにより、地域と行政の協働による身近に親しめる水辺づくりを推進します。



うつくしま川・サポート制度による河川美化活動

河川や海岸の環境保全活動

地域住民や水環境団体が行っている河川や海岸の清掃などの環境保全活動を推進します。



鳴き砂を守る会の海岸清掃活動

上下流連携による環境保全活動

上流から下流までの地域住民や活動団体が連携した環境保全活動を支援します。



夏井川流域の一斉水質調査チラシ

身近な河川の水質保全意識の醸成

流域内の上流と下流の水質の違いを理解してもらうなど、水質保全に対する意識を高める活動を支援します。



上下流の違いを学ぶ体験イベント

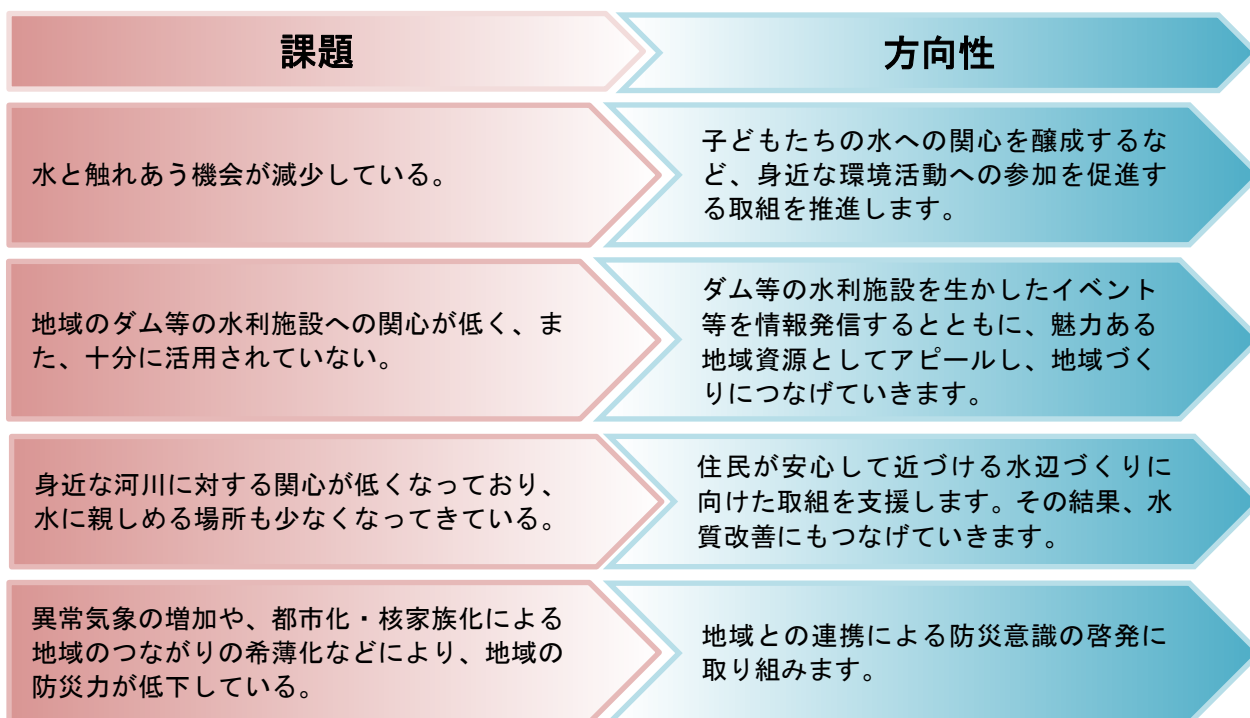
「都市部の河川の水質改善」に関わる取組と実施主体の関係

重点的に取り組む施策	実施主体							
	産	学	民		行政			
	事業者	研究機関・教育	市民団体	住民	市町村	国	県	
①都市部の河川の水質改善	地域と行政の協働による環境保全活動	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	河川や海岸の環境保全活動	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	上下流連携による環境保全活動	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	身近な河川の水質保全意識の醸成	◎	◎	◎	◎	○	○	◎

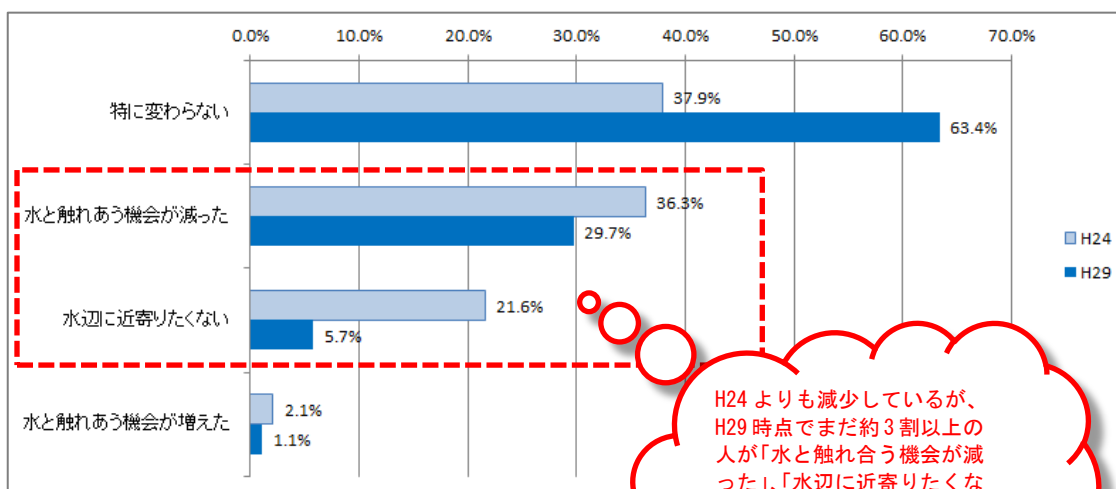
※◎は中心となって取り組む主体、○は関係して取り組む主体

主な課題と今後の方向性

浜通り地方は、森・川・海に恵まれた豊かな水環境を有していますが、平成 29 年度県政世論調査において、約 3 割以上の方が「水と触れあう機会が減った」「水辺に近寄りたくない」と回答するなど、水辺における活動が縮小している状況にあります。このため、身近な水への関心と意識を高めるなどして、水環境保全活動への参加を促進するとともに、地域の豊かな水資源を十分に活用しながら、地域を元気にする取組を支援します。



「震災後の水との触れ合い方の変化（浜通り地方）」〔平成 29 年度県政世論調査（福島県）〕



H24 よりも減少しているが、H29 時点でまだ約 3 割以上の人が「水と触れ合う機会が減った」「水辺に近寄りたくない」と回答。これは、他地方より高い値（中通り 17.5%、会津 5.7%）となっている。

具体的な取組

子どもたちへの環境教育を充実させるとともに、地域住民や水環境団体の連携や交流を促進するなど、健全な水循環を支える人づくり、地域づくりを支援します。

水質保全意識の醸成

水生生物による水質調査を行う「せせらぎスクール」や、「水の作文コンクール」などを通じて、子どもたちの水に対する意識を高めていきます。



せせらぎスクール

水利施設を活用した地域づくり

ダム等の水利施設を生かしたイベント等を情報発信するなどして、魅力ある地域づくりにつなげていきます。



四時ダムまつり

身近に親しめる水辺づくりの推進

川や水路が本来持っている憩いの場としての機能を確保していくため、住民が安心して近づける水辺空間づくりを推進します。



夏井川水系新川ひょうたん島の清掃活動

防災意識の啓発

関係機関が連携した減災対策に向けた取組や、地域住民の防災意識の向上の取組などを推進します。



豪雨から子どもの命を守る出前講座

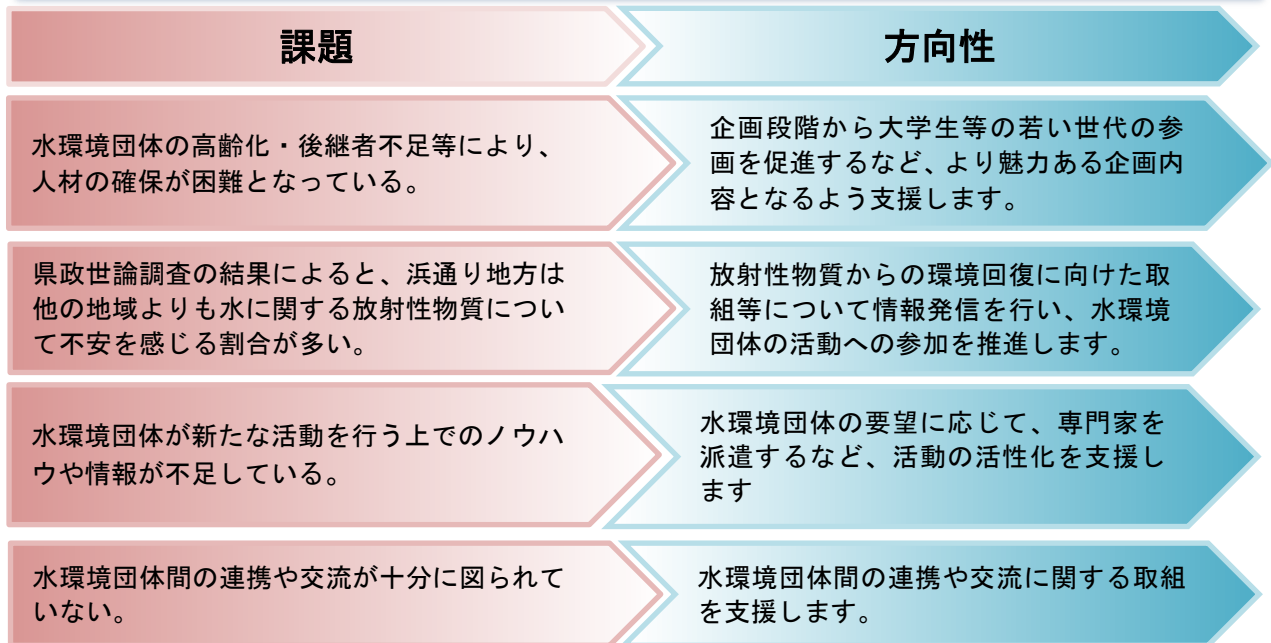
「森・川・海を育む人づくり・地域づくり」に関わる取組と実施主体の関係

重点的に取り組む施策	実施主体							
	産	学	民		行政			
	事業者	研究機関・教育	市民団体	住民	市町村	国	県	
②森・川・海を育む人づくり・地域づくり	水質保全意識の醸成	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	水利施設を活用した地域づくり	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	身近に親しめる水辺づくりの推進	◎	○	◎	◎	○	○	○
	防災意識の啓発	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎

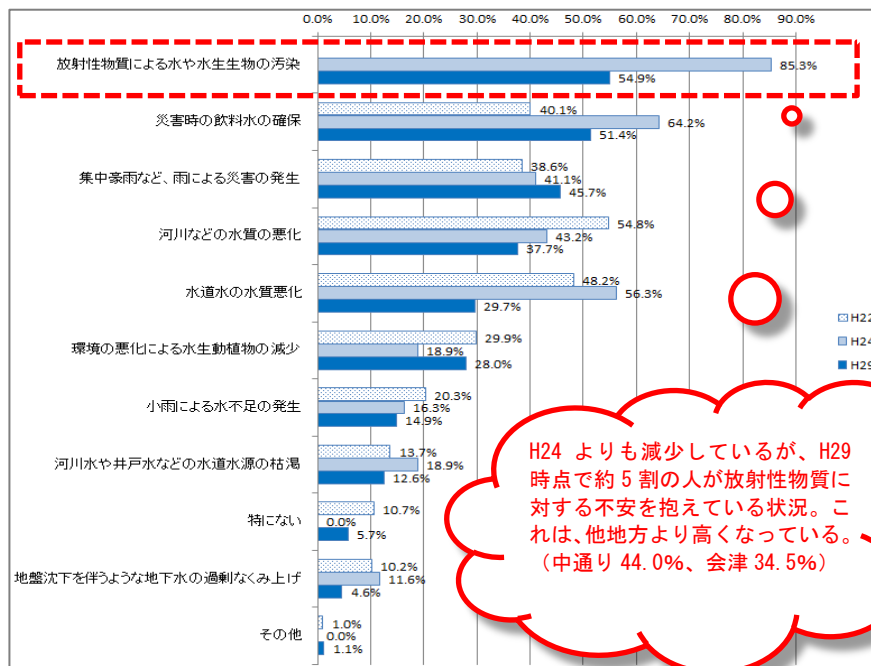
※◎は中心となって取り組む主体、○は関係して取り組む主体

主な課題と今後の方向性

浜通り地方の各流域では、水環境団体による様々な活動が行われていますが、県政世論調査の結果によると、浜通り地方は他の地方よりも水に関する放射性物質について不安を感じる割合が多いことから、その活動が縮小するなどの課題を抱えています。このため、放射性物質に関する情報発信を行うとともに、水環境団体の人材確保や情報発信を支援し、活動の活性化につなげていきます。



「水についての心配や不安」〔平成 29 年度県政世論調査(福島県)〕(浜通り)



具体的な取組

放射性物質からの環境回復に向けた取組等について情報発信を行うとともに、若い世代の参画を促すなど、水環境団体の人材確保や情報発信を支援し、人が集う豊かな水辺空間に向けて水環境団体の活動活性化を図ります。

水環境団体への若い世代の参画促進

大学等と連携して若い世代の参画を促進するなど、水環境団体の活動に参加しやすい環境を整えるとともに、福島県 HP や若者の情報発信ツールなども活用し、団体の活動を紹介します。



学生参加による夏井川の活動

若者の SNS 等の活用

放射性物質等に関する情報発信

水辺空間の利用を控えている県民に配慮し、福島県 HP 等を活用して環境放射線モニタリング結果や環境回復に向けた取組等について情報提供を行います。



福島県 HP による放射線モニタリング状況

水環境団体の活動支援

勉強会や講演会等に講師を派遣する「水との共生出前講座」などを活用し、水環境団体の活動を支援します。



水との共生出前講座

水環境団体間の連携・交流の推進

福島県水環境団体交流会の活動を支援するなど、水環境団体間の連携や交流の機会を充実させます。



福島県水環境団体交流会

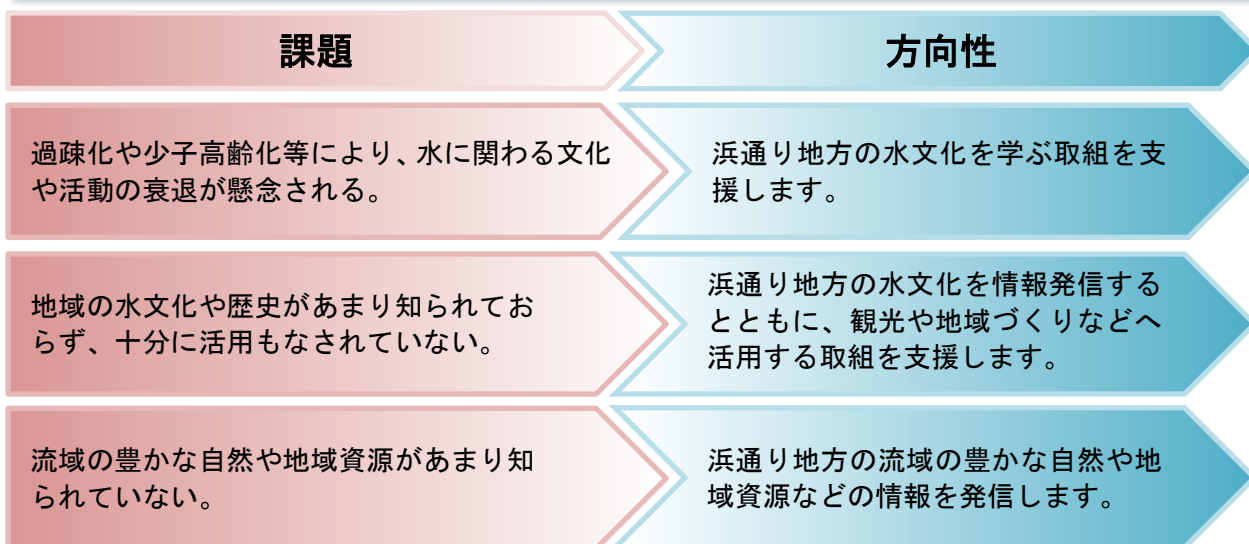
「水環境団体の取組支援とその活性化」に関わる取組と実施主体の関係

重点的に取り組む施策		実施主体						
		産	学	民		行政		
		事業者	研究・教育・機関	市民団体	住民	市町村	国 県	
③水環境団体の取組支援とその活性化～人が集う豊かな水辺空間に向けて～	水環境団体への若い世代の参画促進	○	◎	◎	◎	○	○	◎
	放射性物質等に関する情報発信	○	○	◎	◎	◎	◎	◎
	水環境団体の活動支援	○	○	◎	◎	○	○	◎
	水環境団体間の連携・交流の推進	◎	○	◎	◎	○	○	◎

※◎は中心となって取り組む主体、○は関係して取り組む主体

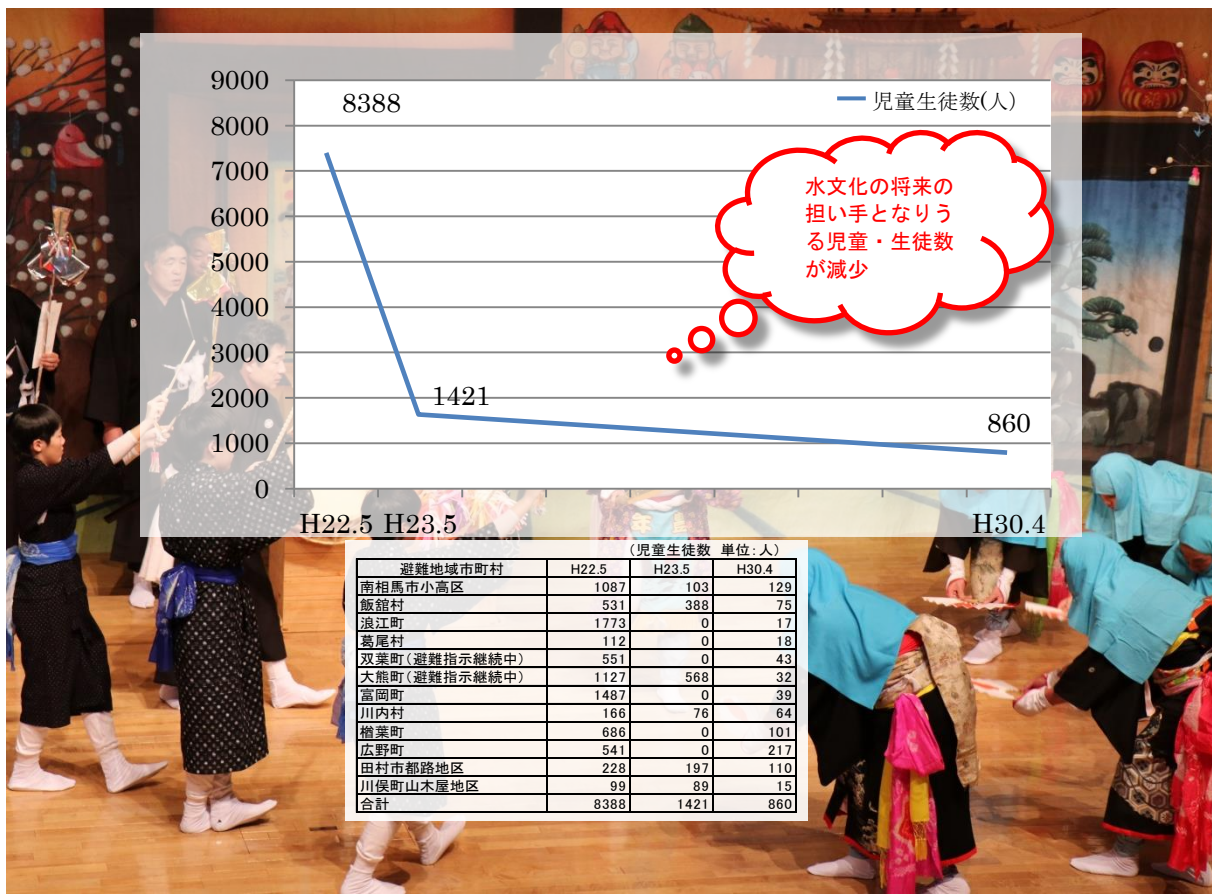
主な課題と今後の方向性

浜通り地方では、水に関わる祭事や伝統工芸などが各地に残されておりますが、これらの「水文化」は、中山間地域の過疎化や少子高齢化の影響や、原子力発電所事故等による避難の影響などにより、伝統文化の担い手が減少し、衰退が懸念されています。このため、地域の水文化を流域の魅力として十分に活用しながら、将来に継承していく取組を支援します。



「避難地域12市町村の小学校児童数、中学校生徒数の推移」

〔「第4回福島県学校再開支援チーム会議資料」から作成〕



具体的な取組

水文化を学ぶ取組への支援や水文化に関する情報発信を行うとともに、観光や地域づくりなどへ活用する取組を支援します。

水文化にふれ、学ぶ取組の支援

学校や地域における水文化を学ぶ取組や、地域の水文化を学びながら行う水環境活動を支援します。



水について学ぶ子どもたち

水文化に関する情報発信

福島県 HP や各種イベント等において、各地の水文化に関する情報を発信します。



沼ノ内の水祝儀（いわき市）

「ふくしまの水文化」の活用

平成22年度に選定した「ふくしまの水文化」について、観光や地域づくりなどへの活用する取組を支援します。

浜通り地方の“特に後世に伝えたいふくしまの水文化”一覧

テーマ	種類	水文化
生活の中の水文化	祭事・信仰等	鹿島御子神社の「火伏せの神事」(南相馬市)、相馬野馬追(野馬懸)(南相馬市)、日吉神社の浜下り(南相馬市)、大滝神社の浜下り(檜葉町)、※火防祈禱祭 裸参り(浪江町)、※大倉の葉山祭り(飯館村)、沼ノ内の水祝儀(いわき市)、磐城大國魂神社の御潮採り神事(いわき市)、飯野八幡宮の流鏝馬(いわき市)
	伝説・伝承等	作見の井戸(飯館村)、賢沼と龍門寺の井戸(いわき市)、波立海岸と鱈ヶ淵の伝説(いわき市)
	湧水・清水	赤井嶽の弘法水(いわき市)
水に関わる産業	伝統工芸	遠野和紙(いわき和紙)(いわき市)
	利水施設	御仕法によるため池(宗兵衛堤)(相馬市)、御仕法による水路(七千石用水、萱浜用水、小高江)(南相馬市)、愛谷江筋(いわき市)、磐城小川江筋(いわき市)

※印は、東日本大震災及び原発事故の影響により、損壊や休止があるものを示す。

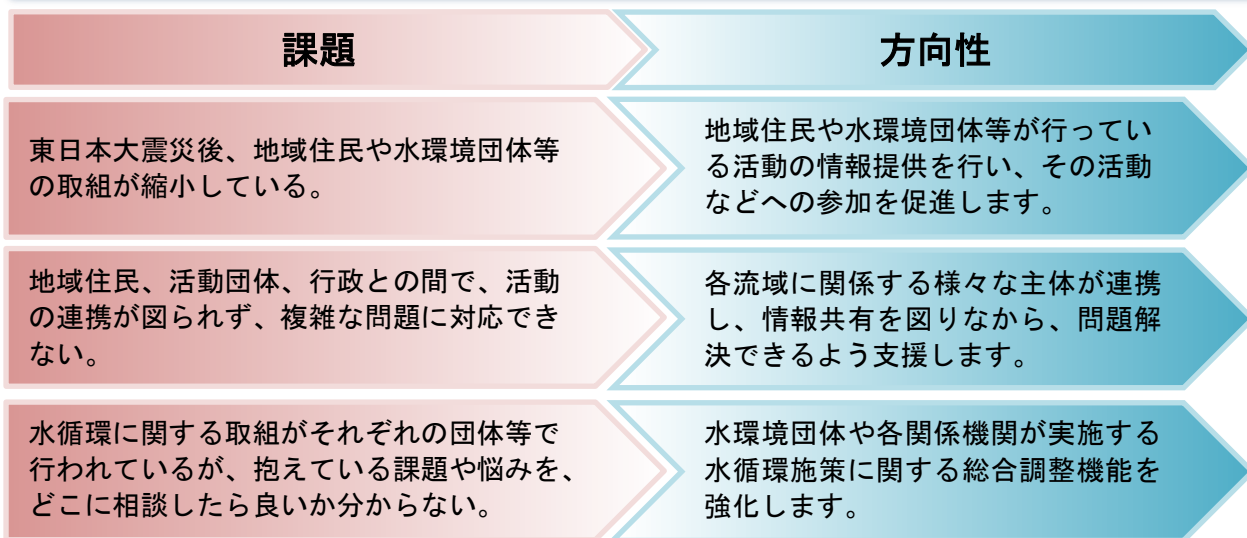
「浜通り地方の水文化の継承」に関わる取組と実施主体の関係

重点的に取り組む施策		実施主体						
		産	学	民		行政		
		事業者	研究・教育・機関	市民団体	住民	市町村	国	県
④浜通り地方の水文化の継承	水文化にふれ、学ぶ取組の支援	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	水文化に関する情報発信	◎	◎	◎	◎	○	○	◎
	「ふくしまの水文化」の活用	◎	○	◎	○	◎	○	○

※◎は中心となって取り組む主体、○は関係して取り組む主体

主な課題と今後の方向性

浜通り地方の各流域が抱える水環境の問題は多様化、複雑化しており、流域に関わる様々な主体が課題を共有し、連携しながら一緒に取り組んでいくことが求められています。そのため、関係団体が直面している課題について知恵を出し合いながら解決していくため、浜通り地方流域水循環協議会が総合調整機能を果たします。



Key
Person



夏井川の流域連携を支える
はしもと こういち
橋本 孝一さん
福島工業高等専門学校名誉教授
夏井川流域の会代表世話人
NPO 法人いわき環境研究室理事長

略歴 いわき市在住。昭和18年生まれ。地域の環境保全活動を積極的に支援するとともに、夏井川流域住民による川づくり連絡会の代表世話人として、夏井川流域の上下流の交流や、親水活動、環境学習など水環境保全活動に尽力されている。



夏井川流域の会設立の経緯は？

私たちの会は、会設立後12年目を迎えることができました。設立に際しては、福島県の「水との共生プラン」のバックアップをいただき、夏井川流域内の田村市滝根地区・小野町・いわき市の2市1町の住民が主体となって活動に取り組んできました。

子どもたちのために必要なことは何ですか？

子どもたちが安心して近づける水辺空間の確保です。学校の近くに川が流れていても、堤外地に樹木が繁茂していたり、急なコンクリート護岸であったりする場合が多く、なかなか水辺にアクセスすることが困難な場合が見られます。まずは、河川管理の担当部門で、利用可能な拠点となる整備をお願いしたいですね。その後は、地域住民が維持管理に当たる必要があると思えます。

今、困っていることは何ですか？

川での活動をする場合、ゴムボート、ライフジャケット、採水瓶等、色々な器材が必要になり、それらの保管場所の確保に苦慮しています。また、小学校等に対する学習支援では、安全性の確保が最も大切ですが、週日の場合、リタイア組が中心になってチームを組んでいます。人手不足が制約条件になってしまい、活動の輪がなかなか広がっていません。

今後の活動の抱負をお聞かせください。

夏井川本川沿いあるいは支流域に住んでいる人達が、それぞれの身近な地域で、様々な川での活動（水辺に親しむ活動やゴミ拾い、ウォーキング等）に取り組む姿が当たり前になり、それぞれの活動の成果を共有しあい、「川」を軸にしながら流域住民が一体感を共有できるようになりたいですね。そのような地域の支えがあれば、次世代を担う子どもたちが成長した時、夏井川流域に住んでいたことに誇りに思ってくれるようになると思います。「子どもたちの笑顔が見える夏井川」にすることが、私たちの願いです。

具体的な取組

浜通り地方流域水循環協議会が、様々な主体の連携や情報共有を図りながら、水循環に関する取組がより効果的なものとなるよう支援します。

水環境保全活動への参加促進

福島県HP等を活用し、水環境に関する活動紹介や参加者募集、水辺空間や水に関するイベント等の情報を発信します。



福島県 HP による情報発信「水に関するイベント情報」

水環境団体間の連携・交流の推進

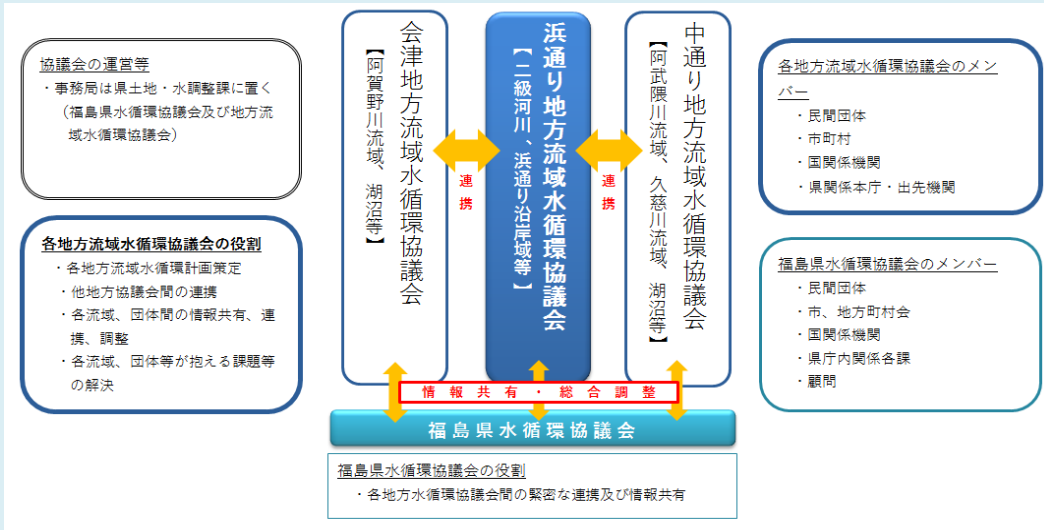
福島県水環境団体交流会の活動を支援するなど、水環境団体間の連携や交流の機会を充実させます。



福島県水環境団体交流会

浜通り地方流域水循環協議会による各流域が抱える課題解決等の支援

様々な主体が情報を共有し、その活動がより効果的なものとなるよう、浜通り地方流域水循環協議会が総合調整機能を果たします。



「水循環施策の窓口機能強化」に関わる取組と実施主体の関係

重点的に取り組む施策	実施主体						
	産	学	民		行政		
	事業者	研究機関	教育・	市民団体	住民	市町村	国 県
⑤水循環施策の窓口機能強化	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
水環境保全活動への参加促進	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
水環境団体間の連携・交流の推進	○	○	◎	◎	◎	◎	○
浜通り地方流域水循環協議会による各流域が抱える課題解決等の支援	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※◎は中心となって取り組む主体、○は関係して取り組む主体